



施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名	05 青少年の健全育成	
目的	対象	青少年, 困難を抱える子ども・若者
	意図	青少年が自覚と責任を持って社会生活をおくることができる 困難を抱える子ども・若者を適切な支援につなげることができる
施策の方向	青少年が次代を担う社会の一員として自覚と責任を持って社会生活を送ることができるよう、健全育成の場の提供や地域活動において活躍できる人材の育成、非行防止活動、自立支援について、家庭、学校、地域、行政が一体となった取組を推進します。	

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

<p>施策の目的、方向に対する考察 (Check・Action)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもまんなか社会」の実現へ向けて、児童館において子どもや若者の意見を積極的に聴取し、その意見を児童館運営に取り入れるとともに、子どもの意見が十分に反映された取組を行う。 ・児童の放課後の居場所として、保護者の就労の状況に関わらず誰でも利用できる放課後子供教室事業あそびバを実施しており、子どもたち自身のやりたいことの実現を目指すとともに、専門人材や地域団体と連携した遊びのプログラムの提供など、多彩な体験ができるようプログラムの充実を図っている。 ・子ども・若者支援地域ネットワークにおける取組として、多様な相談支援ニーズに応えるため、24時間365日利用できるチャット相談事業を開始するとともに、インターネット広告の活用をはじめとする相談窓口の広報の強化を図ることで、困難を抱える子ども・若者の支援につなげる。 ・子ども・若者総合支援事業「ここあ」については、相談件数が年間1万件を超えており、引き続き高い水準で推移していることから、相談員を増員し支援体制を強化するとともに、体験プログラムを始めとする居場所事業の充実に取り組み、自立に向けた支援の拡充を図る。
--

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
児童館における子どもの意見を具現化した取組の件数	件	22 令和3年度	55	111	40 令和8年度	◎	・各種イベントでは、子どもたちの主体的な活動が数多く行われた。 ・子どもたちから意見聴取（アンケート等）を行い、児童館の活動や運営に反映した。
社会生活を営むうえで困難を抱える子ども・若者への支援に満足している市民の割合	%	41.0 令和4年度	60.7	61.1	53.0 令和8年度	◎	・子ども・若者支援地域ネットワーク構成機関の追加や講演会の開催等の取組とあわせて、子ども・若者総合支援事業「ここあ」の認知度がより一層高まったことで満足度が上昇したものと考えられる。 ・今後も満足度の高い結果を得られるよう、各種施策の推進を図っていく。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■05-1 青少年の健全な成長の支援

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
25	放課後子供教室事業の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・子どもたちの意見を反映させたプログラムの実施に向けて、外部専門人材を活用したプログラムを実施し、事業の満足度向上に寄与 ・児童の放課後居場所対策として、一部施設において試行的な開設時間延長を実施 ・新1年生のあそびバの利用促進を図る目的で未就学児体験会を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・一部施設での試行的な開設時間延長を継続 ・未就学児体験会の継続実施により、新一年生の利用促進を図る ・市内の文化、スポーツ、児童福祉活動などを行う企業・団体等と協力したプログラムや、東京都の「専門人材を活用した活動プログラムの充実事業」による外部専門人材を活用した魅力的なプログラムの導入 ・「やりたいあそび」の募集による子どもの視点に立った事業の実現

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①青少年問題協議会、青少年補導連絡会及び健全育成推進地区委員会との連携・協力により、青少年表彰、非行防止街頭パトロール及び健全育成地区親善ソフトボール大会等を実施した。 ②青少年補導連絡会については、一層の青少年の非行防止に関する取組を推進することを目的として、要綱改正を図った。 ③調布市スポーツ推進委員会と市内各小学校区のPTAや開放運営委員会、健全育成推進地区委員会などから推薦された地域の方々に構成された実行委員形式で調布市小学生ドッジボール大会を開催し、市内小学校からは約800名の子どもたちの参加があり、子どもたちへの運動機会の創出、スポーツを楽しめる環境づくりを行った。 ④ジュニア・シニアリーダー講習会については13回、レクリエーション講習会については6回実施した ⑤「わたしが考える未来の調布」をテーマに自由で夢のある意見発表を行う「令和6年度調布っ子「夢」発表会」を実施し、市内小学校に在学の5年生10人が参加した。	①地域ぐるみでの健全育成の更なる推進を図るため、今後も関係団体との連携・協力を図りながら、各種事業を実施していく。 ②青少年の非行防止に関する取組の推進に向けて、組織のあり方を含め継続的な検討を行っていく。 ③令和7年度は継続した実施を予定。令和8年度から競技種目を変更し、「調布市小学生スポーツ鬼ごっこ大会」として実施予定。 ④引き続き、各種リーダー講習会及びレクリエーション講習会を実施し、地域で活躍できる人材の養成を図る。また、各種広報媒体（市報、ホームページ、SNS、チラシ、社会教育情報紙「コラボ」、調布FM等）を活用して事業の周知に努める。 ⑤引き続き、子どもたちに自由で夢のある意見発表の機会を提供するとともに、まちづくりへの参加意識の向上を図る。

■05-2 困難を抱える子ども・若者の支援

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
26	【重点②】 子ども・若者への支援	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	<p>・子ども・若者支援地域ネットワークの構成機関に東京都立神代高等学校(定時制)を追加し、更なる連携強化を図った。</p> <p>・子ども・若者支援地域ネットワーク会議を開催し、構成機関の事例紹介を行うとともに、各機関のスタッフを対象とした施設見学会を実施することで、更なる連携強化を図った。</p> <p>・健康推進課と共催で自殺予防をテーマとした講演会(自分を傷つけずにはいられないー自傷とオーバードーズの理解と援助)を開催した(講師:松本俊彦先生,参加者:132人(会場56人,オンライン76人))。</p> <p>・「秋のこどもまんなか月間」における取組として、調布駅構内におけるネットワーク構成機関の広報活動、インターネット広告を活用した相談窓口の周知を行い、広報の強化を図った。</p> <p>・子ども・若者総合支援事業「ここあ」において、相談員の2名増員と相談管理システムの導入を行い、相談支援体制の強化を図るとともに、居場所事業を実施した。</p> <p>【相談事業】延べ相談件数1万444件,相談者数819人 【居場所事業】延べ利用人数823人,登録者数29人 ・居場所を提供する事業を実施する団体(1団体)へ補助金を交付し,市内で活動する団体の支援を行った。</p>	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<p>・24時間365日,誰でも匿名かつ無料で利用できるチャット相談窓口を運営する「NPO法人あなたのいばしょ」との協定締結によるチャット相談事業を令和7年度から開始するとともに,当該法人を子ども・若者支援地域ネットワークの構成機関へ追加し,多様な相談手法等に関する新たな知見を取組に反映させ,連携体制を更に深めることで,相談支援体制の充実を図る。</p> <p>・子ども・若者支援地域ネットワークの連携体制の強化を図るため,ネットワーク会議においてモデルケースを扱う事例検討会の実施に向けた検討に取り組むとともに,講演会や施設見学会等の企画・実施を通して,連携支援体制の更なる強化を図る。</p> <p>・令和7年7月の子ども・若者等チャット相談支援事業の開始に伴い,チャット相談から支援ケースの引き継ぎを受ける子ども・若者総合支援事業「ここあ」において,相談支援件数の増加が想定されることから,「ここあ」相談員の増員を行い,支援体制の強化を図る。</p> <p>・居場所を提供する事業を実施する民間団体への補助金交付を引き続き実施し,市内における居場所の充実を図る。</p>

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
<p>①第3期調布つすこやかプランの策定に向けて,子ども・若者の意見を聴取するため,「NPO法人青少年の居場所Kitos」及び子ども・若者総合支援事業「ここあ」利用者を対象とした調査を行い,施策へ反映する取組を行った。</p> <p>②原因不明の体調不良で通学困難となる起立性調節障害に関する講座について,「調布心身障害児・者親の会」との共同企画により実施し,地域住民の理解を促進した。</p>	<p>①第3期調布つすこやかプランに基づき各種施策の展開を図るとともに,支援体制の強化を進め,子ども・若者支援の充実に向けて取り組む。</p> <p>②全国的に活動している起立性調節障害当事者家族や小児科の専門医を講師に招いた講座や進路説明会等を「調布心身障害児・者親の会」との共同企画で実施し,当事者家族等を支援していく。</p>

4 施策の推進,成果向上の視点(4つの視点)を踏まえた令和6年度取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<p>・児童館におけるICT化を推進し,eスポーツ大会等を通じた交流の機会を創出し,新しい遊びを通して,子どもたちの居場所機能の充実を図る。【令和6年度・7年度】</p> <p>・子ども・若者支援地域ネットワークの取組みとして,24時間365日誰でも匿名かつ無料で利用できるチャット相談支援事業を行う。【令和7年度】</p> <p>・支援を必要とする子ども・若者に対して,広く相談窓口の周知を行うため,SNS等を活用したインターネット広告事業を行う。【令和6年度・7年度】</p> <p>・子ども・若者総合支援事業「ここあ」において,オンライン相談の実施や相談管理システムの活用など,デジタル技術を用いた支援業務を行う。【令和6年度・7年度】</p>	<p>・公設公営児童館が基幹型児童館として,民間活力を活用した民営児童館の地域・関係機関等との連携を支援する。【令和6年度・7年度】</p> <p>・基幹型児童館と地域型児童館の連携により,各地域の住民関係団体等と児童館を中心とした健全育成活動の活性を図る。【令和6年度・7年度】</p>
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
<p>・児童館等におけるサークル活動の野菜栽培を通じ,子どもが楽しく環境問題やSDGsについて考える機会を創出する。【令和6年度】</p> <p>・児童館等におけるグリーンカーテンの栽培を通じ,脱炭素社会や電気使用の抑制について子ども自身が考える機会を創出する。【令和6年度】</p>	<p>・児童館における日常的活動と健全育成推進委員会等の地域団体との連携を深めることにより,非常時の子どもの安全が守られる関係性を構築する。【令和6年度・7年度】</p>

5 後期基本計画期間(令和9年度~令和12年度)における施策の方向整理に向けた検討

<p>・令和9年度以降の児童館のあり方と運営方針について,外部識者を招いての児童館あり方検討委員会実施に向けた準備を進める。</p> <p>・青少年問題協議会及び青少年補導連絡会については,近年の社会状況の変遷にあわせ,都内における近隣自治体の動向を踏まえつつ,あり方を含め組織の見直しに向けた検討を行う。</p> <p>・子ども・若者支援地域ネットワークにおける取組として,支援対象者のニーズに対応していくため,インターネット等を活用した相談窓口の広報強化に取り組む。</p> <p>・市内中学生世代の児童数増加,チャット相談からの支援ケース引き継ぎにより,子ども・若者総合支援事業「ここあ」において相談支援件数の増加が想定されることから,「ここあ」相談員の増員を行い,支援体制の強化を図る。</p> <p>・子ども・若者総合支援事業「ここあ」において,令和9年度以降の総合福祉センターの移転を踏まえ,移転前後における相談・居場所事業の円滑な実施運営と,移転の機会を捉えた支援体制の強化を図るため,既存課題の解決や機能の拡充に向けたソフト・ハード両面における取組を推進する。</p>
--